

「未来への手紙」について

「未来への手紙」の募集概要

目的

東日本大震災・原発事故を知らない世代へ記憶や教訓を伝承すること

募集内容

震災学習等、震災を学んだことで感じた以下のテーマについて、200字～300字程度で募集。

- ① 将来へ伝えたい教訓（震災を学んで初めて気付いたこと、防災に関する知識等）
- ② 将来の自分へのメッセージ（復興への誓い等）
- ③ 将来の福島県への願い（福島がどうなって欲しいか等）

対象（震災学習の成果と継承の視点）

県内の中学生（県内の中学校に在学中の者）

募集期間

令和7年6月19日（木）から令和7年8月29日（金）

活用方法

- ① 祈念式における読み上げ（3作品程度）
- ② 3月1日に発出する知事メッセージの作成に活用
- ③ 県HP等での公表
- ④ 伝承館における掲示（3.11前後）、アーカイブ化
- ⑤ 県内中学校への共有を通じた震災教育への活用

「未来への手紙」の応募状況

応募総数 1,475通

＜テーマ毎の応募数＞

- | | |
|----------------|------|
| ① 将来へ伝えたい教訓 | 531通 |
| ② 将来の自分へのメッセージ | 498通 |
| ③ 将来の福島県への願い | 446通 |

「未来への手紙」選定会

選定メンバー

別紙のとおり

選定のフロー

- (1) 事前審査（10月に実施済）
選定メンバーをテーマ毎に3グループに分け、各自事前審査により候補作品を選定
- (2) 選定会（11月17日実施）
 - ① グループワーク
作品のテーマ毎に3グループに分け、グループワークにより「祈念式における読み上げ作品」を選定。
 - ② 報告会（プレスオープン）
グループワークにより選定した作品をグループ毎に知事に報告等を実施。